

山の動く日

与謝野

晶子

山の動く日来たる。

かく云へども人われを信ぜじ。

山はしばらく眠りしのみ。

その昔において

山は皆火に燃えて動きしものを。

されど、そは信ぜずともよし。

人よ、ああ、唯これを信ぜよ。

すべて眠りし女今ぞ目覚めて動く

くなる。

●書ける字はなぞりましょう。声に出して読みましょう。